

VC ADSR

ユーザーマニュアル



「注意」

このユーザーマニュアルは元英語マニュアルを基に翻訳されたものです。
内容が部分的に異なったり、間違いがある可能性がありますのでご了承ください。
もしご質問や不明点ありましたらこちらのメールアドレスにご連絡をお願いいたします

befaco.jp@befaco.org

電源

BEFACOからモジュールを購入していただきありがとうございます。

このモジュールを使う前にこのマニュアルをお読みください。

1. **接続するモジュラー収納ケースの電源コードを外してください**
2. **電源コードの極性をしっかりご確認ください。**ケーブルの色付きの線(ピン番号1)は-12Vレールです。
3. モジュールを逆向きに差し込むと壊れる可能性がありますのでご注意ください。
(この場合は保証対象外になります)
4. この製品についてご質問ありましたら、こちらにお問い合わせください



befacojp@befaco.org

製品概要

VC ADSRは、古典的なADSRをもっと小さく、パワフルで簡単に！
この回路は「カレント・ミラー」技術とスイッチ制御論に基づいています。

このコンパクトなユニットは使いやすく、フェーダーが付いているので直感的に操作が可能です。

VC ADSRのユニークな機能は、各ADSRステージの出力が付いており、今までにないコントロールが可能。
エンベロープの生成は、パネルの押しボタンまたはトリガー/ゲート入力を使用してトリガーおよび制御できます。

エンベロープの各ステージ間の応答曲線（線形から対数/指数関数）は専用ノブで変更可能。

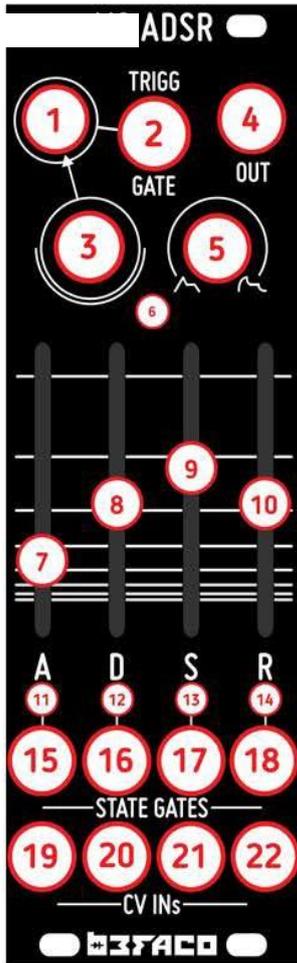
仕様：

-電流要件：+12V：16mA、-12V：8mA、+5V：0mA

-8HP/深さ30mm（電源コネクタを含めて）

モジュール参照

モジュール機能説明



3. MANUAL GATE/TRIGGER PUSH BUTTON

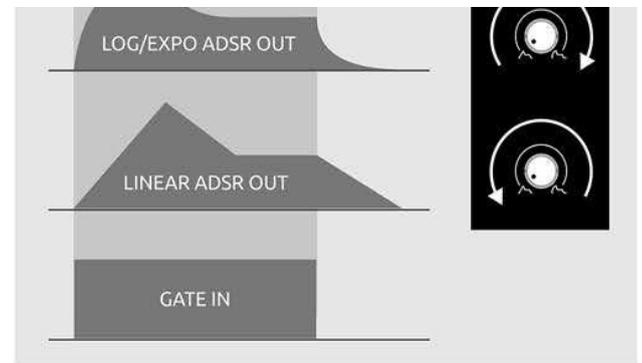
このボタンで手動的にエンベロープを生成できます

4. OUTPUT

エンベロープの出力。エンベロープの範囲は0v~10vです。

5. LINEAR TO LOG/EXP TRANSITION CONTROL

このノブでエンベロープの各ステージ間の応答曲線を調整できます。

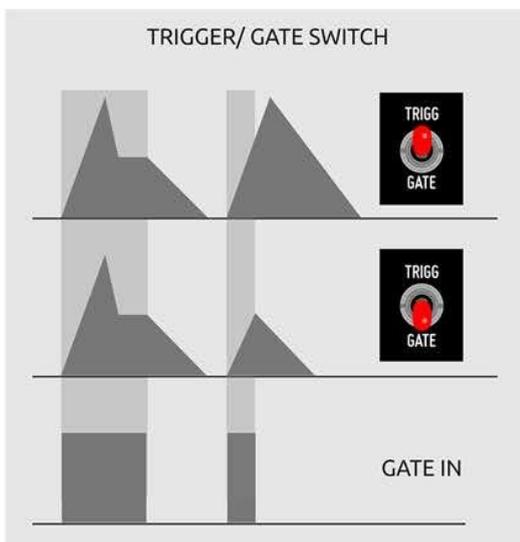


1. GATE/TRIGGER INPUT

エンベロープ作成をONにして維持するためのゲート/トリガーの入力。

2. Trigger or Gate mode Switch

どちらのモードでも、入力に信号がある限り、エンベロープは変化し続けます。「トリガー」モードでは、入力のトリガーがアタックとリリースを生成します。「ゲート」モードでは、ゲート/トリガー入力信号が無くなるとすぐにリリースが開始されます。

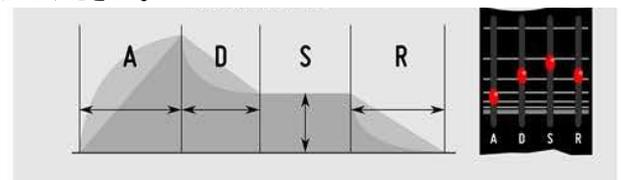


6. GATE/TRIGGER INPUT INDICATOR LED

このLEDは、入力にゲートまたはトリガー信号がある場合に点灯します(手動のゲート/トリガープッシュボタンによって作成された信号を含む)。

7 - 10. ADSR SLIDERS

これらのスライダーは、エンベロープのアタック、ディケイ、サステイン、リリースの各段階を手動で制御します。サステインは時間ではなくレベルの尺度であることに注意してください。

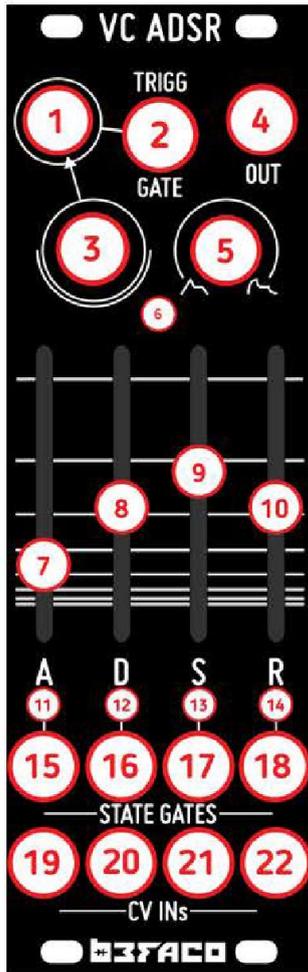


11 - 14. ADSR INDICATOR LEDs

これらのLEDは、エンベロープの各部分(アタック、ディケイ、サステイン&リリース)がアクティブになると点灯します。

モジュール参照

モジュール機能説明

**NOTE. SUSTAIN**

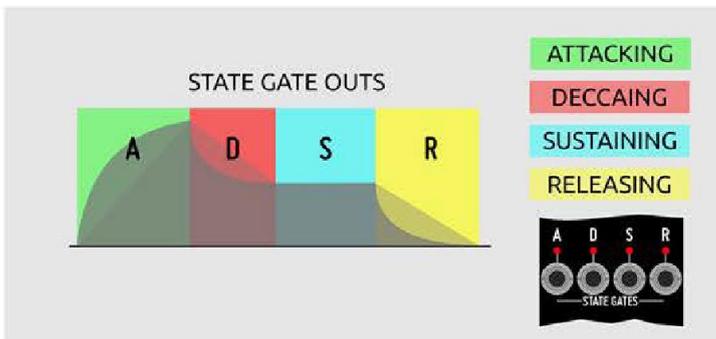
サステイン: サステインは、音符の長さではなく、音符が持続するレベルのことです。サステインの長さは、ゲート信号の長さによって制御されます(詳細については、次のメモを参照してください)。

NOTE. RELEASE

エンベロープのリリース部分は、入力ゲート信号がなくなるまでアクティブになります。

15 - 18. STATE GATE OUTPUTS

これらの出力は、エンベロープの4つのステージ(アタック、ディケイ、サステイン、リリース)のそれぞれがアクティブなときに、ゲート信号(0-10v)を出力します。

**19 - 22. ADSR CV INPUTS**

これらの入力はCV入力を使用して、エンベロープの4つのステージのそれぞれのレベルを個別に制御します。

